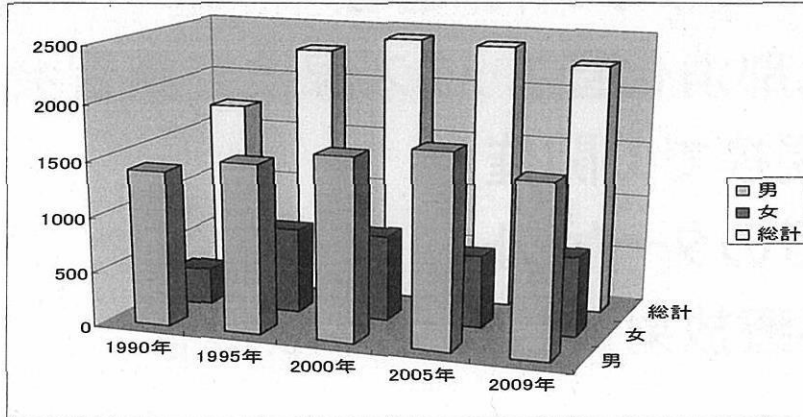


診療放射線技師養成機関 男女別入学者数

年	1990	1995	2000	2005	2009
男性	1410	1528	1652	1741	1544
女性	328	766	773	657	716
総計	1738	2294	2425	2398	2260
女性の比率	(18.8)	(33.4)	(31.9)	(27.4)	(31.7)



女性放射線技師育成支援プログラム (LMGプログラム)
「検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師講習会受講・受験のための参考図書代」
補助プログラムの実施

NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)
理事長・田中完児

NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)は、「乳がんが悲しむ人を一人でも少なくしたい」という思いから様々な活動を行っております。(詳細は同封の活動概要と<http://www.j-posh.com>をご覧ください)
その中には、乳がん早期発見のためのマンモグラフィ検査の普及や乳がん患者さんへの専門軍(医師、看護師、放射線技師、検査技師、薬剤師、ソーシャルワーカー、など)による啓蒙の推進があります。
一方で、乳がんの医療の実態はその患者さまのほとんどが女性であるため、そして乳房という女性特有の臓器であるため、その現場では女性スタッフを望まれる声は非常に高いものがあり、NPO法人J.POSHにも「女性放射線技師さんに検査してもらいたい、女性技師さんであれば検査を受けるのに…」などの声が多く寄せられております。

また、欧米における乳がんのマンモグラフィ検診ユニットやプレストクリニックでは(少数の男性医師を除いて)すべて女性スタッフで構成されているのが一般的です。このように、今もこれからは乳がん検査・診療の現場で女性の放射線技師の方が常に必要とされています。

このような状況を踏まえて、NPO法人J.POSHではより多くの女性放射線技師(Lady Mammographer: LMG)の方が乳がん領域、特にマンモグラフィ撮影に興味を持っていただき、女性やその家族、友人を乳がんの悲しみから救っていただければと思い、これを支援する女性放射線技師育成支援プログラム(LMGプログラム)を設立いたしました。

初年度の2010年度は「検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師講習会受講・受験のための参考図書代」補助プログラムを実施いたします。

応募要項(別紙)をお目通しの上、ご応募および広報のご協力をよろしくお願いいたします。

<女性放射線技師育成支援プログラム(LMGプログラム)に関するお問合せ先>
NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)事務局
Tel: 06-6910-2900 Fax: 06-6910-2851 Email: info@jselection.co.jp
担当: 事務局長 松田寿美子



J.POSH
日本乳がんピンクリボン運動